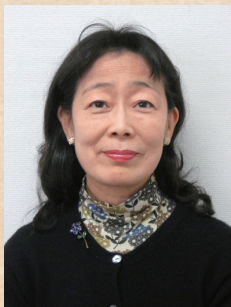


兵庫教育大学 芸術表現系教育コース 音楽分野

TEACHING STAFF



木下 千代 Chiyo Kinoshita



担当授業 

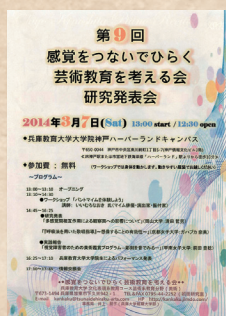
大学院：音楽表現の知識と技能Ⅱ（鍵盤）、音楽教育の創意Ⅱ（鍵盤）、
総合芸術表現演習

学 部：ピアノ演習Ⅰ～Ⅳ、初等音楽、音楽科教育法Ⅱ

専門分野：ピアノです。幅広い時代のピアノ作品の演奏と指導を行います。とくにバッハ、古典派ではモーツァルト、ロマン派ではショパン、シューマン、近現代ではドビュッシー、ラヴェルを得意とし演奏を行っています。1998年にはラヴェルピアノ独奏作品全曲演奏会を2夜にわたって、2010年にはオールショパンプログラムのリサイタルを開催しました。ショパンの作品はこれまでに2曲のソナタ、協奏曲、室内楽作品まで数多くの曲をリサイタルで取り上げています。楽譜に忠実に、書かれていることはもちろんのこと、行間を読むように作曲者の意図をくみ取ることが大切と考えています。そしてピアノは変幻自在な音色を持つ楽器、

タッチによってさまざまな音色のニュアンスを追求し、感情の細かい襞を表出していきます。音楽とは西洋のクラシック音楽だけではありませんが、このピアノという素晴らしい楽器、そして素晴らしい作品との関わりは、私の人生そのものです。

教育大学に身を置いているので、学校音楽教育への関与は避けて通れません。ピアノ伴奏法や学校現場で活用できるピアノ指導以外に、音楽づくりの分野に関わっています。美術科の教員と組んで、五感を使って音や絵を楽しみ、様々な表現活動に結び付ける総合的な芸術表現の研究と実践を行っています。子どもたちが五線に書かれた音楽を奏でるだけでなく、感覚をひらいて即興的に音を表現し、他者とのコミュニケーションをつくれるよう導きます。「感覚をつないでひらく芸術教育を考える会」を立ち上げ、年に一度研究会を開催しています。



研究室紹介

ゼミは学年ごと、または似通った研究でおしで随時行なっています。ティータイムのような気楽な雰囲気の中で学生たちは自分たちの研究成果を持ち寄りディスカッションします。研究領域にはかなり自由をもたせて干渉しませんが、文章表現のチェックは少しうるさいかも…

これまでの論文テーマの例

- ショパンのエディションの研究 ● 生涯学習へとつながるピアノ指導の在り方について
- 保育士・幼稚園教員を目指す学生のピアノ読譜力の研究
- シューマン「詩人の恋」における詩と楽曲の関係について
- ピアノ実技指導における連弾曲の効果的な活用法について



学生に望むこと

自分が一番興味をもてることにテーマを定め、自主的に調査・研究をしていただくことを望みます。私生活では様々な芸術・芸能領域の、できれば生の演目に触れ、見識を広め感性を磨いてほしいです。感動することが表現の起爆剤となります。アンテナを拡げて自ら求め、自分の中に豊かな知見を蓄積してください。演奏の為にすべてが芸の肥やし、そして教師となったとき音楽のたくさんの引き出しを持っていることが、子どもたちの目を輝かせることでしょう。